第 42 号
平成28年８月１日 発行

輪 島 市

議会だより

杉平町で行われた県指定無形民俗文化財「重蔵神社如月（きさらぎ）祭」の虫送り神事

【目 次】

第２回定例会の概要 …… 2
代表質問 …… 3
一般質問 …… 4
代表質問・一般質問（追加議案）…… 7
常任委員会報告 …… 9
議決結果 …… 10
委員会活動報告 …… 11
議会日誌・編集後記 …… 14

発行 / 輪島市議会　編集 / 議会報編集委員会
輪島市二ツ屋町 2-29　TEL0768-23-1182　FAX0768-23-1180
ホームページ http://www.city.wajima.ishikawa.jp/categories/bunya/gikai/

平成28年　第２回　定例会

会期／６月６日～27日

６月６日から22日間の会期で第２回定例会を開催しました。

市長から提出のあった、予算の専決処分などの議案 16 件、追加議案 6 件を審議した結果、いずれも承認または原案のとおり可決とし、産業廃棄物処理施設浸出水処理水の下水道接続を認めることにつき意見を求めることについて（議案第 83 号）及び人権擁護委員推薦につき意見を求めることについて（議案第 84 号）は、異議なしと答申しました。

また、請願 1 件については不採択、議員から提出があった議会議案 2 件は可決しました。

◎平成28年第２回定例会　平成28年度補正予算額

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	206億3,600万0千円	7,791万7千円	207億1,391万7千円
特別会計	112億3,296万4千円	0千円	112億3,296万4千円
企業会計	62億6,386万1千円	0千円	62億6,386万1千円
合　　計	381億3,282万5千円	7,791万7千円	382億1,074万2千円

次の定例会は8月下旬開会予定です

本会議の生中継・録画は
◉輪島市ケーブルテレビ９チャンネル、
◉市議会のホームページで見られます。
（ホームページアドレス）
http://www.city.wajima.ishikawa.jp/categories/bunya/gikai/

市議会を傍聴してみませんか

本会議は議場で傍聴できます。

傍聴席の定員は51名です。

なお、紙面の都合上、各議員の質問と答弁の全てを掲載できません。

正式な会議録は、次回の市議会定例会までに作成され、議会事務局や市立図書館で閲覧できます。

椿原 正洋 議員

（所属会派）拓政会
（党　　派）自由民主党

質問した項目

◎熊本地震等について
○参議院選挙について
◎子育て支援について
◎農業政策について
◎輪島塗の持続的な振興について
◎産業廃棄物処理施設浸出水について
◎消防団員の確保について
◎愛称・呼称について
○雪割草群生地保全事業費について
◎学校教育について
○東京五輪の事前合宿誘致について

熊本地震等について

問 能登半島地震の被災地として、どの様な支援をされていますか。

答 人的支援として、被害家屋の調査業務を5月1日より、宇土市及び益城町へ2名ずつ、延べ10名を派遣しています。

物的支援として、阿蘇市、南阿蘇村などに非常食や飲料水用ポリタンクなどの支援物資を送付しています。

なお、義援金については100万円を送金しています。

問 市庁舎も早急な耐震化の必要性がありますが、対応を伺います。

答 耐用年数50年とされる本庁舎は、築42年以上経過し老朽化が著しく、抜本的な対策が必要です。

今後は、審議会を設置し、財源問題等を含め検討を行います。

子育て支援について

問 放課後児童クラブの管理運営状況について、一部の施設に定員超過が見受けられますが、安全対策は万全ですか。

答 本市の児童クラブは11クラブあり、定員総数322名の内、入所児童総数は302名となっています。

1児童クラブにつき支援員2名以上を配置しており、施設規模によってばらつきはありますが、運営指針や条例等の基準内であります。

農業政策について

問 本市の農業は小規模であり、殆どが兼業農家で高齢化や後継者問題を抱えています。

そして農家からは、「米は買った方が安い」と数十年前から声が聞こえており、一向に改善されず、経営は悪化する一方であるので、もっと根本原因を突き詰め課題を明らかにし、対策を練る必要はありませんか。

将来的には、農家の福祉向上・所得向上が実現されなければなりません。

答 農業を取り巻く環境は大変厳しいものとなっていますが、国の制度を活用し、経営の多角化や収益性の高い作物栽培を行い、持続的な営農活動が行われるよう支援してまいります。

輪島塗の持続的な振興について

問 輪島塗技術再認識・普及事業の進捗状況について伺います。

答 本事業は、ふるさと応援基金を財源とし、技術的難度の高い作品製作を通して、輪島塗のユネスコ無形文化遺産登録へのアピールを視野に国内外に情報発信していくために実施されます。

製作には数年かかるので、製作概要やスケジュール等の策定のために検討委員会を組織し、具体的に検討してまいります。

産業廃棄物処理施設浸出水について

問 公共下水道への接続が可能との判断ですが、根拠をお示しください。

答 1日の最大汚水量は、現在の処理施設の能力を超えませんし、昭和34年に記録した年間最大雨量が2年連続しても溢れない大きさになっています。

また、水質についても事業者と本市で、二重・三重のチェックを行い、河川へ放流される処理水の水質を行政が最終確認します。

問 接続も認めるのか伺います。

答 産廃施設建設については、当初計画時点から10年が経過する中で、市議会や区長会長会もこの事業者が運営する施設を視察し、事業者に対する信頼性も高まっていると考えます。

また、過去に公が関与しないものは認められないと建設反対の意見書が可決されていますので、浸出水処理水を下水道に接続することについて議会の意見を求めるべくお諮りしたいと考えています。

消防団員の確保について

問 消防団員の待遇改善や他県で見られる消防団活動に対しての協力事業所への優遇税制措置など、積極的な支援が必要と思いますが、取組みについて伺います。

答 本市の消防団員充足率は94.7％と全国平均を大きく上回っています。

団員の処遇については、退職報奨金の増額や災害時の手当・旅費などの負担を見直していますし、消防救急デジタル無線の整備や活動服の更新などの充実を図り、消防団員の皆様方は「やりがい」や「達成感・使命感」を備えており、市民の安心安全を守るという重要な役割を担っていただいています。

愛称・呼称について

問 輪島武道館の呼称を歴史ある由緒ある「養正館」にされてはどうでしょうか。

答 武道館を利用される関係団体の皆様方からご意見を伺い検討してまいります。

学校教育について

問 教育環境の整備について伺います。

答 小学校の小規模化が進行し、義務教育の機会均等や学力・体力の水準維持・向上の観点を踏まえ、学校規模の適正化や小規模化に伴う諸問題について、保護者や地域の方々と意見交換をし、より良い学校教育の在り方や適正規模を検討してまいります。

◎は質問内容および答弁を掲載しています。

本ページは、質問者本人の原稿を尊重して掲載しています。

市政のここが聞きたい

下　善裕 議員

（所属会派）勇　気
（党　　派）無所属

質問した項目

◎防災対策に関する地域の現状について
◎輪島塗の継承に係わる職人について
○子どもたちの活動に対する支援施策の拡充について

防災対策に関する地域の現状について

問　防災拠点機能を備えたハード面の整備を進めるとともに、ソフト面では自主防災組織の機能確保のための啓発活動を推進していますか。

答　本市では大規模な災害時に一定期間、滞在可能とする指定避難所として42箇所、各種災害ごとに緊急かつ一時的に避難する指定緊急避難場所として津波避難ビルを含む69箇所を指定しています。

各地区において自主防災組織の資機材などの充実を進めるべく、これに係る費用に対して、補助制度を設けており、広報などを通じて情報提供しています。

さらに、市内全ての公民館に、長期保存可能な食料と飲料水を備蓄しています。

自主防災組織の結成状況は、各地区でややばらつきはあるものの、6月1日現在で、143の自主防災組織が結成されており、約70％に当たる世帯が組織に加入され、今後も、自主防災組織の未結成地区において研修会などの実施や働きかけを行い、更なる組織率の向上を図ってまいりたいと思っています。

輪島塗の継承に係わる職人について

問　主要産業の一つである輪島塗を支えてきた職人の現状と、輪島塗のこれまでの経緯と展望について具体的な取組みを考えていますか。

答　輪島塗を支えてきた職人は、従事者数が最も多かった平成2年度の2千893人から平成27年度では千378人と、半分以下にまで減少し、平成12年度から平成18年度にかけて、輪島塗技術後継者奨励金制度を設け、木地と塗り部門の19事業者30名を支援してきた実績もありますが、若手技術者の数は、木地部門を中心に深刻な状況が続いており、消費者の価値観の多様化による需要減少が背景にあり、それに伴う仕事量減による収入の不安定化が、若者が漆器業に就くことをためらう要因であると考えられます。

生活様式が大きく変化している時代の中で、新たな漆芸の可能性に向けて、輪島漆器業界においても、積極果敢に取組まれるのであれば、本市としましても様々な支援や協力をしてまいりたいと考えています。

鐙　邦夫 議員

（所属会派）日本共産党
（党　　派）日本共産党

質問した項目

○学力テストについて
○就学援助について
○ドクターヘリについて
○新公立病院改革プランと地域医療構想について
○新たな介護改悪計画について
○後期高齢者医療制度について
○児童虐待について
○保育士の待遇改善について
○自衛官募集活動について
◎遊休農地対策について

遊休農地対策について

問　5月27日の産業経済委員会で、国の遊休農地対策についての説明がありました。

農用地区域内で遊休農地を放置している場合、固定資産税の軽減措置が解除され、固定資産税の評価額が引き上げられます。

一方、「石川農地中間管理機構」に貸付の意志を表明した場合は、多くの場合、土地所有者の貸し渋りではなく、受け手となる担い手が育っていないからではないでしょうか。

この制度は、生産現場の実情を踏まえた遊休農地対策とは言いがたく、担い手づくりには目を向けずに課税を強化しても、現場で混乱を招くだけだと思いますが、いかがでしょうか。

答　「担い手」の育成のため、農業座談会等において制度の周知を図っており、平成27年度には6つの個人や団体が新たに認定農業者となり、現在57の経営体が「担い手」として活動しています。

その中で、農地の貸借を仲介する「いしかわ農業総合支援機構」には、市内で借受けを希望する、11法人と32個人の合計43の経営体が登録しています。

今後も石川県などの関係機関と連携し、意欲ある「担い手」の育成を図り、遊休農地の健全化に向けてより一層努力してまいりたいと考えています。

一二三 秀仁 議員

（所属会派）拓政会
（党　　派）自由民主党

質問した項目

○輪島カブーレについて
○地域おこし協力隊について
◎スローツーリズムについて
◎町野川について

スローツーリズムについて

問　能登杜氏文化の発信による地域振興策について補助することはできないか。

答　能登杜氏文化の発信による地域振興策につきまして、本市には歴史ある酒蔵がたくさんあり、能登半島地震も乗り越え、それぞれの酒蔵において酒造りに取組みながら新酒の季節には酒蔵見学を行うなど酒蔵文化や杜氏文化の継承・発信に取組んでいます。

また、日本四大杜氏として数えられる能登杜氏の歴史・文化の発信につきましては、珠洲市や能登町など近隣の自治体におきましても取組まれています。

町野地区におきましては、平家の里構想として時国家を中心とした奥能登観光の発祥の地とする多くの観光資源があり、そこに新たにスローツーリズムを核とした能登杜氏に関する施設となると、地元の皆様方のご理解や気運の醸成が重要であり、更には他の自治体との連携やなぜ輪島なのか理解していただかなければなりませんが、地域の活性化を図るため行政としてどのような形で支援できるのか、また運営にどのように関わっていくのか十分に協議しながら、協力し取組みたいと考えています。

町野川について

問　河口閉塞の対策をとれないか。

答　石川県に確認したところ、波浪などにより1年間に10回程度、河口付近が砂により閉塞するとのことであり、河口が閉塞した場合には、波が治まり次第、石川県は早急に砂の除去を実施しており、さらに、自然に堆積する砂を海に押し流す対策として、河口右岸域を鋼矢板で仕切り、断面を小さくし流れを速く保つ構造とすることにより、適切な維持に努めています。

町野川は、河口から明治橋までの3千800ｍの区間において平成14年度までに中小河川改修事業を実施し、流下能力を確保していますが、一方で河川の線形改良やコンクリート張り護岸の施工により魚などにとっては住みにくくなっています。

今後は、どうすれば昔のようにアユやカジカが町野川に多く生息できるのか、町野川漁業協同組合、石川県、本市による協議会等の設置も合わせて検討してまいりたいと考えています。

高田 正男 議員

（所属会派）清政クラブ
（党　　派）無所属

質問した項目

◎産廃処分場について
○雪割草群生地の整備について

産廃処分場について

問　処分場の浸出水を下水道に接続して放流することの検討結果が3月末に提出されましたが、地元剱地地区に対して説明会の開催状況と、仮に下水道への接続に係る第一期及び第二期工事の経費の負担区分、そして、雨量データについても、その積算根拠をお聞かせ願います。

この雨量について、第一期、第二期埋立期で、浸出水の最大処理量を1日当たり400㎥とし、二基の貯水槽（3万4千㎥）で、2年間雨が降っても対応できるとありますが、汚水処理に不純物が混入して処理できない日が長期間続いた場合対応できないのではないでしょうか。

また、遮水シートについて、このシートは特殊加工をした製品とのことでありますが、埋立物によっては、化学製品もあると思われることから、化学反応を起こし短期間で遮水能力が失われると考えますが、その安全性の算出根拠をお聞かせ願います。

答　下水道への接続については、まだ説明会を行っておりませんが、この意見は伝えています。

工事費については概算でありますが、施設から剱地浄化センターまでは事業者負担であり、剱地から門前水質管理センターまでの間は、市にもメリットがありますので、今後協議してまいります。

また、貯水槽については年間最大雨量相当の2千650ミリの雨が2年間降っても充分と考えています。

遮水シートの耐用年数を左右するのは、紫外線による劣化であり、遮水シートの上層に、もう一層、紫外線の透過を遮断する遮光層を設けることから、埋立予定期間を充分に上回る耐用年数が確保できることを確認しているとのことです。

遮水シート断面サンプル

本ページは、質問者本人の原稿を尊重して掲載しています。

市政のここが聞きたい

上平 公一 議員
（所属会派）市政会
（党　　派）自由民主党

質問した項目

◎イノシシ等の駆除及び被害状況とその対策について
○地方創生人口減少対策等について
○赤字バス路線について
◎志賀原発活断層について

イノシシ等の駆除及び被害状況とその対策について

問 ＪＡおおぞら管内農家総数は2千36戸、10年間で（33.6％）減少、農地集積政策もあり離農の急増、耕作放棄地も県全体の3割となり、それに伴い山林が荒廃しイノシシ等も増え、その被害から栽培をやめた話も伺っています。

実態予想及び被害報告、駆除・捕獲、狩猟免許取得状況及び支援、捕獲檻及び電気柵の設置及び効果、解体・処理及び販路について伺います。

答 平成27年度の被害面積は10ヘクタールとなり繁殖力も強く増加が予想され、83頭（事故12頭）を捕獲・駆除しています。

また、新規狩猟免許取得者は57名、助成としまして2万7千3百円を、更新の際は2万4千円を上限に支援しています。

檻は市内に35基、猟友会が補助を受けての設置もあり、柵は国の交付金により29地区延べ85㎞、ＪＡ・市補助で10㎞と山間地を中心に設置しています。

捕獲後につきましては、主に猟友会が処理し、食用にむかないものは焼却しており、販路については数も少なく考えていません。

志賀原発活断層について

問 東日本大震災による福島原発事故から5年が経過しましたが、放射能汚染は今も東北・関東地方の農林水産物等の出荷に制約や規制を科す中、除染も進まず、故郷に帰れない人達が9万人余いるとも伺っています。

事故後廃炉は11基で他に計画・建設中止もある中、能登の志賀原発においても直下に活断層が存在するとの報告書を4月下旬に原子力規制委員会が受理し、新基準では廃炉の可能性が高いと伺っています。

北陸電力側から報告内容や安全協定及び防災対策はどうか。

答 志賀原発に関する調査及び有識者会合の内容提供は受けています。

平成27年2月には、穴水町と共に第1回の協議があり、その後、国による敷地内破砕帯審査が始まり、現在動向を注視しています。

また、原子力防災対策は、30㎞圏内にモニタリングポストの設置や剱地災害防護施設での資機材整備も進めています。

小山　栄 議員
（所属会派）拓政会
（党　　派）自由民主党

質問した項目

○18歳選挙権について
◎のと里山空港利用促進助成金について
○市民の足の確保について
○「生涯活躍のまち」について

のと里山空港利用促進助成金について

問 利用状況は。

答 平成27年度の利用実績は、5千587名の利用で、金額にして2千176万2千円を交付しており、前年度より33名、金額で517万3千円増加しています。

問 助成金の支払いについて配慮が足りないのでは。

答 のと里山空港利用促進助成金の申請に必要な搭乗券につきましては、平成27年度の9月から搭乗時に「搭乗券」又はレシート状の「ご搭乗案内」のどちらかが発行されるなど紛らわしい状況となっていることは承知しているところであり、申請手続や申請に必要な書類などにつきまして、周知に努めているところです。

また、万一紛失された場合におきましても搭乗証明書を添付していただくことで、後日、口座振替とはなりますが、助成金を受け取ることができます。

さらに、本年4月から能登羽田便を往復利用し、羽田空港に接続する便に乗り継ぎをした場合の乗り継ぎ上乗せ助成制度を創設しました。

なお、往復利用を予定されていた方に対し、欠航のため往復利用できなかった場合の助成金の取扱いにつきまして、欠航した定期便の航空券等を提出することで助成金を受けることができるよう制度改正をしたところです。

のと里山空港の利用促進となりますよう、助成制度と共にその手続き等の更なる周知に努めてまいります。

中山　勝 議員
（所属会派）拓政会
（党　　派）自由民主党

質問した項目

議案第83号産業廃棄物処理施設浸出水の下水道接続について

問　公共下水道への接続が可能との判断ですが、このことが本当に安心安全つながるのか、また、これを認めた場合どの様な展開となるのか、そしてこの事業者が、本当に信頼できると考えているのかお答え下さい。

答　計画では、浸出水を調整槽に貯留し、処理施設で浄化した後、下水道へ接続する計画となっています。

接続依頼のあった処理水量は、将来に渡り下水処理場施設の能力を超えないことから受入れが可能です。

水質については事業者側と本市とで二重三重のチェックを行い、行政が最終確認をすることで、住民の安心につながるものと考えています。

処理施設の建設については、市町合併時からの懸案事項で、当初計画から10年の歳月が経過する中、市議会や区長会長会もこの事業者の運営している施設を視察し、信頼性も高まって来ていると考えています。

近年は、環境問題に対する国民の関心も高まっており、事業者のモラルも向上してきています。

下水道への接続を認めれば、この事業の手続きが今後進むこととなります。

過去に公が関与しないものは認められないなどの意見書を、本市議会において二度にわたり可決していることから、執行部だけで接続の可否を判断すべきことはなりませんので、本市議会の意見を求めるべくお諮りしたいと考えています。

「エコフロンティアかさま」（茨城県笠間市）での視察の様子

鐙　邦夫 議員
（所属会派）日本共産党
（党　　派）日本共産党

質問した項目

議案第83号

問　**公共下水道に接続することは、県内のどこかの産廃施設で実施されていますか。**

答　石川県内においては、下水道に接続している産業廃棄物最終処分場はありませんが、県外では、茨城県笠間市の施設において接続の事例があります。

通常、産業廃棄物最終処分場の浸出水処理につきましては、事業者が設置する浸出水処理施設において処理した後、河川放流を行うのが一般的でありますが、今回の計画につきましては、地域住民の安心安全のため、本市が管理する下水道への接続について調査・検討を行ったものです。

問　事業者は埋立終了後撤退しますが、問題が発生した場合の事業者による補償はどうなっていますか。

答　事業者は、埋立終了後においても、すぐに撤退をすることはなく、浸出水が十分な水質基準に達するまで徹底した管理が行われ、安全性が確認された段階で初めて、埋立処分場の廃止が認められるものです。

したがいまして、廃止が認められるまでは、法に定める維持管理積立金制度により、運営や維持管理を適正に行っていくこととなります。

また、埋立処分場の廃止後につきましても、緑地等の管理につきましては、母体となる株式会社タケエイが適正に継続していくこととなっています。

整備工事完了時予測図

市政のここが聞きたい

坂本 賢治 議員

（所属会派）市政会
（党　　派）無所属

質問した項目

議案第83号について

問 管理型産業廃棄物最終処分場の建設が発表されて10年が経ち、この間、輪島市議会では二度にわたって建設反対の決議をし、意見書も提出しています。

また、市長が独自に諮問した検討委員会でも、「輪島市にそぐわない施設」として建設反対の答申を出しています。

加えて、旧輪島市区長会長会が多くの市民の署名簿を添えて建設反対の意思表示をし、経済団体からも明確な建設反対の声があがりました。

何故その時点において、市長意見として建設反対の意思表示をしなかったのか伺います。

また、「観光都市・輪島」として、「世界農業遺産」に認定されているこの地域に産廃施設はそぐわないと思いますが、市長の見解を求めます。

千枚田

答 市町合併以来、大きな懸案事項について、その多くのことを実施してきました。

この事業だけは、大釜地区の皆さんが集落を上げて誘致したいとの強い思いがあり、これまでの間、その問題の重さから判断を明確にできませんでした。

この10年で廃棄物処理法の法改正がされ、廃棄物の適正な処理を巡る課題への対策が強化され、排出事業者に対する責任の徹底や罰則の強化等により事業の信頼性が確保されました。

全国の著名な観光地でも最終処分場が存在しており、風評被害についてはないと判断しています。

小山　栄 議員

（所属会派）拓政会
（党　　派）自由民主党

質問した項目

議案第83号に関連して

問 行政の関与の範囲は。水質管理、搬入監視は。

答 下水道の接続により本市が関与することで、より厳格に産業廃棄物処分場の管理が行えるものと考えています。

本市で計画されている最終処分場につきましては、過去にゴミ戦争とも呼ばれた時代の産業廃棄物処分場とは全く異なるものであると考えています。

今回、本市の下水道と接続することにより、市民の皆様方の見えるところで確実に管理が行われることになり、市民の皆様方の安心安全につなげることができると判断いたしているところです。

問 将来的に当市のゴミ処理構想は。

答 平成24年3月に作成した第1次輪島市総合計画において、循環型社会の形成のため、ゴミの減量化や再資源化の推進、不法投棄防止対策の充実、リサイクルや環境美化運動の推進に努め、本市にふさわしい美しい環境を創出することが、将来的なゴミ処理構想につながると考えています。

RDF施設が平成34年で終了することを考えますと、今後、本市におきましても新しい焼却施設を計画する必要がありますので、今年度中を目途に、ごみ処理の基本構想を策定する予定としています。

また、能登半島地震によりまして、予定量以上にゴミが搬入されたことや、東日本大震災以降の災害対策意識の高まりなど、社会環境の変化を踏まえて、災害対策や地球温暖化対策の強化を目指し、強靭な廃棄物処理システムを確保できるよう、今後の施設整備の計画を策定しなければならない時期に至っているところです。

このことから、リサイクル処理施設や産業廃棄物処理施設は、安全性が担保されるのであれば、社会全体として必要な施設であると考えています。

本ページは、質問者本人の原稿を尊重して掲載しています。

常任委員会報告（抜粋）

予算決算委員会

本委員会に付託された3件の議案につきまして、その主な要旨を申し上げます。

議案第63号及び議案第64号は、平成27年度一般会計及び浄化槽事業特別会計補正予算の専決処分の承認を求めるものであり、議案第65号は、「平成28年度輪島市一般会計補正予算（第1号）」であります。

このうち、議案第65号については、被災自治体職員派遣費として、熊本地震被災自治体への職員派遣に要する費用、地域介護・福祉空間整備等事業費補助として、介護予防・生活支援拠点施設整備に助成する費用、土地改良施設維持管理適正化事業費として、門前町池田地区のため池の整備補修に要する費用、などを計上したものであります。

主な質疑についてでありますが、まず、議案第63号では、2款1項6目生涯活躍のまちづくり事業費について、事業費の内容はどうかとの質疑があり、事業費の4千万円のうち2千万円は温泉掘削の費用であり、温泉掘削にあたっては、市の2号源泉・ホテルルートイン輪島・浴場組合の同意を得ているとの答弁がありました。

次に、議案第65号では、2款1項8目「わじま周遊バス実証事業費補助」について、周遊バスの時刻とコースについて質疑があり、1日5便の運行と、町野線への接続やのらんけバスへの接続により利用者の利便性を図る旨の答弁がありました。

3款2項2目地域介護・福祉空間整備等事業費補助では、あての木園ふげしデイサービスセンターの施設の利用人数はどのくらい見込んでいるのか、との質疑があり、認知症カフェは利用者5名が毎月4回、研修会は年3～4回で受講生20名程度、デイサービスは週5日で定員14名、地域住民のよろず相談員は事務所内におくと聞いているとの答弁がありました。

これらの議案について、執行部から詳細な説明を聴取し、総括質疑に加え、分科会で分担して詳細に質疑を行うなど、慎重に審査をいたしました結果、原案のとおり承認または可決すべきものと決しました。

総務委員会

付託された案件の主な要旨についてですが、議案第66号は、本市の総合計画を策定することに関し、必要な事項を定めるものであります。

議案第67号は、個人番号及び特定個人情報を利用する事務に障害者地域生活支援事業に関する事務を追加するものであります。

議案第68号は、地方税法等の一部改正に伴い、軽自動車税の環境性能割等について定めるなど、所要の改正を行うものであります。

議案第69号は、地方再生法の一部改正に伴い、関係規定の整備を図るものであります。

議案第70号は、寄付の使途を見直し、より柔軟に寄付者の意向を反映した施策の実施を可能とするための改正であります。

議案第73号は、公職選挙法施行令の一部改正に伴い、輪島市議会議員及び輪島市長の選挙における選挙運動に関し、選挙運動用自動車の使用等の選挙の公営に要する経費に係る限度額の引き上げを行うものであります。

議案第75号から議案第78号は、林道整備、農業集落排水施設整備や携帯電話の不感地域の解消のための移動通信用鉄塔整備など、辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定するものであります。

採決の結果、付託された議案10件については、いずれも全会一致で可決すべきものと決しました。

また、請願第4号については、賛成者なしで不採択とすべきものと決しました。

教育民生委員会

付託された議案の主な内容について、議案第71号は、国で定める「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」の改正に伴い、家庭的保育事業等における保育士の確保が困難な状況に対処するべく、当面の間の措置として、保育士の配置要件の弾力化を図ること、及び「建築基準法施行令」の改正で、避難用階段の構造要件が合理化されたことにより、当該条例の一部を改正するものであり、議案第72号は、条文中別表第2の文言を適切なものに改めるなどの整備を行うもの、議案第83号は、門前クリーンパーク浸出水処理水の本市下水道接続の可否について、議会に意見を求めるもので、主な質疑については、下水道接続の判断を急ぐ理由は何か、下水道接続を認めないと何か問題があるかとの質疑があり、問題というのではなく、提出された環境影響評価準備書に対する輪島市長・志賀町長・石川県環境審議会の意見を踏まえた石川県知事意見で下水道接続の話が出てきたため、事業者が今後提出を予定している評価書の中に盛り込む必要があるためとの答弁がありました。

以上、付託された全ての議案について採決を行ったところ、議案第71号及び議案第72号はいずれも原案のとおり可決すべきもの、また、議案第83号は異議なしと答申すべきものと決しました。

産業経済委員会

付託された議案第74号は、本市水道事業における給水区域の変更に伴い、深見町全域を給水区域に追加するためのものです。

この議案1件に対して、執行部から説明を聴取し、慎重に審議、採決を行ったところ、全会一致で、可決すべきものと決しました。

第2回定例会議決結果一覧

○市長提出議案：専決処分２件（補正予算２件）、予算１件、条例の制定１件、条例の一部改正８件、人事案件１件、その他９件

○議員提出議案：意見書２件

■全会一致で議決された議案

議案番号	件　　名	議決結果
議案第 63 号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度輪島市一般会計補正予算(第９号))	承　　認
議案第 64 号	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度輪島市浄化槽事業特別会計補正予算(第３号))	承　　認
議案第 65 号	平成28年度輪島市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第 66 号	輪島市総合計画条例の制定について	原案可決
議案第 69 号	輪島市地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 70 号	“がんばる輪島”応援寄附条例の一部改正について	原案可決
議案第 71 号	輪島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第 72 号	輪島市障害者地域生活支援事業に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第 73 号	輪島市議会議員及び輪島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第 74 号	輪島市水道給水条例の一部改正について	原案可決
議案第 75 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案第 76 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案第 77 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案第 78 号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案第 79 号	輪島中学校建設工事（校舎・建築）請負契約の締結について	原案可決
議案第 80 号	輪島中学校建設工事（校舎・電気設備）請負契約の締結について	原案可決
議案第 81 号	輪島中学校建設工事（校舎・機械設備）請負契約の締結について	原案可決
議案第 82 号	輪島中学校建設工事（屋内運動場・建築）請負契約の締結について	原案可決
議案第 84 号	人権擁護委員推薦につき意見を求めることについて	異議なしと答申
議会第 6 号	介護保険制度における軽度者への福祉用具貸与及び住宅改修の継続を求める意見書	原案可決
議会第 7 号	介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保を求める意見書	原案可決

■賛否が分かれた議案等（今回より、議会改革の一環として議員全員の了解のもとで掲載しています。）

議案番号	議案名	議決結果	拓政会											市政会		魁	日本共産党	清政クラブ	勇気
			中山 勝	橋本 重勝	玉岡 了英	小山 栄	椿原 正洋	大宮 正	漆谷 豊和	森 正樹	一二三秀仁	西 恵	森 裕一	坂本 賢治	上平 公一	竹田 一郎	鐙 邦夫	高田 正男	下 善裕
議案第67号	輪島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第68号	輪島市税条例等の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	○	○
議案第83号	産業廃棄物処理施設浸出水処理水の下水道接続を認めることにつき意見を求めることについて	異議なしと答申	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	×	×	○	×	×	○
請願第4号	「消費税の再増税を中止し、生活費非課税・応能負担の税制を求める」意見書の採択を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	○	×	×

※○は賛成、×は反対、退は退席、欠は欠席です。議長（森　正樹）は採決に加わりません。
※議案第63号から議案第84号までは市長提出議案、議会第６号及び議会第７号は議員提出議案。

総務委員会行政視察報告 5月19日～21日

去る5月19日から21日まで、長崎県佐世保市及び佐賀県伊万里市を視察しました。

まず、佐世保市では「させぼ観光3しいGO事業」及び「クルーズ船の誘致」の取組みについて視察を行いました。

させぼ観光3しいGO事業とは、市民一人ひとりに観光の視点から佐世保の「美しい、楽しい、美味しい」を持っていただき、佐世保市を訪れる観光客の皆様に「おもてなし」の気持ちで伝えていこうというものです。

次にクルーズ船の誘致では、中国のクルーズ船を有する船社及び旅行会社に対するセールスと、主要都市における観光博覧会への出展を行い、寄港増につなげる取組みを行っていました。

その結果、数年前までは数隻だった寄港回数が、平成27年度は36隻、今年度には50隻を超える寄港が予定されているとのことで、現在の課題としましては、両替や外国語を話せる人材の不足などがあげられていました。

次に、伊万里市の「ふるさと納税」と「婚活応援」の取組みについて視察を行いました。

ふるさと納税について伊万里市では、平成27年度の寄付額が10億円を超えており、それまで平成20年度から25年度までは寄付金が年平均約180万円程度であったのに対し、地域特産品の販路拡大の観点から、平成27年1月に伊万里牛33品、4月には伊万里焼、海産物、地酒など94品目を追加したことと、PRの取組みを強化したことにより大幅に寄付額が増えたとのことでありました。

PRとしましては、ふるさと納税ポータルサイトでの有料広告の掲載が一番効果的であったとのことです。

次に、婚活応援の取組みについてですが、平成22年に全国で初めて婚活応援課を設置し、現在まで婚活登録者数は、男性457名、女性465名、計992名にのぼり、成婚106名という成果を上げており、その要因として、まず、婚活希望者の登録制度を採用し、婚活希望者を把握していることや婚活希望者に的確に婚活イベントの情報提供ができていること、さらには、結婚相談所を設置し、結婚支援相談員の配置や、平日以外の相談日も設けるなど、相談しやすい体制を取っていることなどがあげられるとのことでした。

伊万里市での視察の様子

教育民生委員会行政視察報告
5月17日～19日

去る5月17日から19日まで、北海道旭川市及び月形町を視察し調査を行いました。

旭川市では、まず、旭川市家庭教育支援プロジェクトについて説明を受け、旭川市でも家庭の教育力の低下が懸念されており、国・道と呼応する形で、教育委員会や子育て支援部の「行政」とＰＴＡ連合会や生涯学習インストラクターの「民間」と連携し、市役所各部課等で実施する家庭教育講座をカレンダー化した「子育てわくわくカレンダー」の発行、学習プログラムのメニューづくり、各種講座の開催・実施を行うものです。

この中で特色ある事業としては、道内全市町村で実施している「子ども朝活」事業で、夏休みや冬休みで不規則になりがちな長期休業中の生活リズムを整え、親子や地域住民同士のコミュニケーションの促進を図ることができるとのことです。

また、旭山動物園における教育活動については、大学、学校、動物園の三者で旭山動物園研究会を設立し、学校と動物園双方が融合した教育活動のあり方の研究も行っており、動物園が主導し、観光業者からの依頼は受け付けず、教育免許を有している動物園職員が、何を動物園で学ばせたいか、担当の先生と打ち合わせをして教育プログラムを作成し、「机上の話より、実物の動物とのふれあいが重要で、保育所・幼稚園の頃に種をまくと、大人になって花が開く」、と実感を持って話をしてくれました。

次に月形町では、北翔大学との包括連携協定について説明を聴き、月形町の「月形健康増進計画」に基づき、平成24年6月から北翔大学生涯スポーツ学部に協力を求め「つきがた健康づくり・体力づくり推進事業」を実施しており、この事業の結果、町の総合体育館などの施設利用が増えてきていることや、地域コミュニティの醸成にも役に立っているとの説明がありました。

この包括連携協定は、今後は健康作りだけではなく、福祉等他分野でも連携の幅を広げていきたいとのことでした。

旭川市役所前

産業経済委員会行政視察報告
5月17日～19日

去る、5月17日から19日まで鹿児島県垂水市及び鹿児島市を視察しました。

まず、垂水市では、養殖事業について視察をしました。

垂水市は、鹿児島県の大隅半島西北部、錦江湾に面するほぼ中央に位置し、広域鹿児島市圏と大隅地域とを結ぶ海上、陸上交通の要衝にあり、気温は年間平均気温20.4度と温暖な気候であり、その中で、昭和30年頃から網元の漁師達が「とる漁業から、育てる漁業」へ移行する取組みをし、ハマチやブリの養殖からスタートしましたが、平成元年の台風被害で全ての養殖生け簀を失ってしまいました。

それでも、努力と忍耐、発想力でハマチやブリよりも値段の高いカンパチ養殖を新たにスタートしたとのことです。

今現在、生け簀の数は587基あり1基あたり約3千～4千尾が育てられており、魚病診断や水質調査、薬品残量検査、冷凍餌料に焼酎粕（サツマイモ）や鹿児島県産のお茶を加えたオリジナルの配合飼料を添加した餌を与えることによる身質の向上、信頼できる養殖魚を確立するため、生産過程での安全性の確保と飼育履歴の情報開示等に積極的に取組むことで、単一漁港としては日本一のカンパチの産地となり、周年出荷が可能となったとのことです。

次に鹿児島市では、世界遺産（産業遺産）登録への取組みについて視察しました。

鹿児島市の取組みとして、世界遺産登録推進協議会における推薦書原案作成に向けた協議・調整や国指定文化財等に関する保存管理計画等の策定、かごしま近代化産業遺産協働行動計画の策定・推進、交通アクセスの調査、交通誘導方策の検討・実施、市民への広報啓発、登録後を見据えた受入環境の整備等を行っているとのことでした。

輪島市においても国指定の輪島塗、アマメハギ、面様年頭や県指定の御陣乗太鼓、能登まだら、ぞんべら祭り、如月神事、海女の伝統素潜り漁技術など多くの財産があり、今後、ユネスコ登録に向けた取組みにおいて参考になればと思います。

鹿児島市での視察の様子

地方創生特別委員会 活動報告

去る5月26日に委員会を開催し、産業廃棄物処理場を議題といたしました。

これにつきましては、これまで主に環境問題としてとらえられていましたが、地方創生の観点から、輪島市にとってどのような影響や効果を与えるのか雇用の創出や財政面などを含め多方面から議論を行いました。

まず、先の3月議会にも全員協議会で取り上げられました産業廃棄物処理場の下水道の接続に係る調査結果について執行部から説明を受け、水量と水質の2点について検証した結果、水量については、第一期埋め立については、剱地浄化センターに接続し処理すること、第二期、第三期には、門前水質管理センターに接続し処理すること、水質については、一時処理した水を事業者において水質を確認した後に、輪島市で最終確認する二重三重のチェックを行うことにより、技術的には受け入れは可能であるという結論に達したとの説明を受けました。

そのあと質疑に入り、各委員からは、下水道接続に係る費用やその負担割合、事業者による地元住民への説明会の状況や、雨量・水量の積算根拠、市の処理施設の集約、経済効果、税収面、市道などに関し、多くの質問がありました。

また、計画から約10年が経ち、議会としても現地視察を重ね、現在では、技術が向上し革新的な計画となっており、下水道に接続すれば安心で不安も払拭されるという意見や、事業者と行政がしっかりチェックを行って行くことを示し、地域住民の不安感を取り除いていくことが重要だとの意見もありました。

本委員会といたしましては、執行部からの説明及び委員の質疑を踏まえ、下水道の接続を着実に進めていけば大きな問題にならないと判断し、執行部においては県との交渉がいろいろあると思いますが、地域住民の不安を取り除くよう、誠心誠意市民の立場に立った対応をしていただくことで執行部からの報告は概ね理解するという結論に達しました。

輪島中学校建設 特別委員会活動報告

去る4月19日に、現地視察を行い、輪島中学校建設工事の実施設計内容について質疑を行いました。

主な質疑では、テニスコートは9月完成と聞いたが、新旧のコートとも使えない期間はあるのかとの質疑に対し、新テニスコートができてから、旧テニスコートを解体するので両方とも使えない期間はないとの答弁がありました。

武道場に関し競技団体から、公式試合場で3面以上取れるようにとの要望があったが、要望に応えられるかとの質疑があり、輪島中学校の武道場では、現在は2面しか取れないが、もう1面必要であれば、新体育館のフローリングの床に専用の畳を引けば可能であるとの答弁がありました。

また、市内小学生とのワークショップで出された意見はどの程度反映されたかとの質疑があり、ランニングロードの幅を並んで走れるくらい広くすることや体育館に発表で使えるようなスクリーンを設置すること、体育館や図書室、廊下や中庭でゆっくり読書などができるようにベンチなどを配置することなどの点について実施設計に反映したとの答弁がありました。

次に、昨年、執行部の指摘事項で防犯カメラを3基設置することや緊急通報システムのボタンを1階毎に3箇所 ×3階で計9箇所にボタンを設置し、ボタンを押すと職員室へ流れ、さらに全館放送に切り替えることができるように反映したとの答弁がありました。

最後に、他から視察に来てもらえるような特色はあるかとの質疑があり、体育館の面積がサン・アリーナよりも広く、全ての部活動ができるように設計してあることや体育館棟は、輪島の街なみの黒瓦をイメージした切り妻の勾配屋根で、校舎棟も鳳至上町や黒島の連続した街なみである格子をイメージした外観の仕様にしていること旧体育館の床だけを落とした人工芝の全天候広場は、雨天時にも使用できることはもちろんのこと、土日は一般開放できることが特色であるとの答弁がありました。

また、能登ヒバや杉を極力使うこととし、特に武道場の壁には能登ヒバをふんだんに使うこととしたとの答弁もありました。

以上、未来の中学生が誇りを持って通える学びの場となることを期待して、輪島中学校特別委員会の報告といたします。

観光対策特別委員会 活動報告

去る5月13日に委員会を開催し、わじま観光案内センターの現状について執行部から詳細な説明を受け、活発な議論を行いました。

委員から、わじま観光案内センターの業務内容や輪島市観光協会との今後の関係性、ホームページの更新作業、レンタカー需要増への対応等の質問や意見があり、執行部からわじま観光案内センターの業務内容については、輪島温泉観光開発株式会社と輪島市職員との業務の棲み分けはしているが、観光案内センターとして、あくまでもお客様が来たときには、みんなで協力して業務を行うこととしているとの答弁がありました。

また、観光協会との今後の関係性については、連携・協力という共通認識はあり、協議検討を進めていきたいとの答弁がありました。

市民の声募集！

議会報編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。

■お問い合わせは
市議会事務局
TEL(23)1182
FAX(23)1180
Eメール:gikai@city.wajima.lg.jp

永年在職議員特別表彰
永年在職議員表彰

4月27日に開催された北信越市議会議長会定期総会及び、5月31日に開催された全国市議会議長会定期総会において、玉岡了英議員が15年以上の北信越市議会議長会永年在職議員特別表彰と全国市議会議長会永年在職議員表彰を授与されました。

全国市議会議長会
永年在職議員表彰及び
北信越市議会議長会
永年在職議員特別表彰
【在職十五年以上】

玉岡　了英　議員

●行政視察受入●

《4月》
15日　自治労石川県本部政治連盟（2名）
20日　長野県北安曇郡小谷村議会（11名）
21日　島根県浜田市議会　（7名）
《5月》
9日　徳島県阿南市議会　（4名）
18日　佐賀県唐津市議会　（6名）
24日　鳥取県米子市議会　（1名）
《6月》
24日　青森県三戸郡階上町議会（13名）
28日　岩手県陸前高田市議会（7名）
24日　静岡県駿東郡小山町議会（4名）
4月～6月　合計（57名）

●議会日誌●

《4月》
8日・議会運営委員会
19日・議会運営委員会
・議員全員協議会（定例）
・輪島中学校建設特別委員会
27日・北信越市議会議長会定期総会
《5月》
6日・議会運営委員会
10日・輪島港マリンタウン活性化協議会通常総会
・能越自動車道能登区間建設促進協議会総会
・能越自動車道輪島区間建設促進協議会総会
11日・防衛省全国情報施設協議会役員会
13日・観光対策特別委員会
17日・教育民生委員会行政視察（19日まで）
・産業経済委員会行政視察（19日まで）
19日・総務委員会行政視察（21日まで）
20日・のと里山海道整備促進期成同盟会総会
26日・地方創生特別委員会
27日・議会運営委員会
・予算決算委員会
・総務委員会
・教育民生委員会
・産業経済委員会
30日・全国温泉所在都市議会議長協議会総会
31日・全国市議会議長会定期総会
・のと里山空港利用促進輪島市協議会
《6月》
1日・石川県市議会議長会中央要望
6日・本会議
・議員全員協議会
8日・のと里山空港利用促進議員連盟総会
13日・のと里山空港利用促進協議会総会
15日・本会議
16日・本会議
17日・予算決算委員会
20日・総務委員会
・予算決算総務分科会
21日・教育民生委員会
・予算決算教育民生分科会
22日・産業経済委員会
・予算決算産業経済分科会
・のと里山空港利用促進同盟会総会
23日・輪島中学校建設特別委員会
・予算決算委員会
27日・議会運営委員会
・議員-全員協議会
・本会議

編集後記

8月6日（日本時間）午前8時に、四年に一度のスポーツの祭典リオオリンピックが開幕します。

その日が、広島の原爆投下と重なり、複雑な気持ちになるのは私だけでしょうか。

海外では、テロによる日本人犠牲者が出る等、今、世界はまさに混沌とした時代であると思います。

平和の祭典が何事もなく成功裏に終えることを願うのみであります。

我々議員も四年に一度の審判を受ける身として、気持ちを律し残任期を全うしたいと思います。

■議会報編集委員会
委員長　小山　栄
副委員長　二三　秀仁
委　員　椿原　正洋
高田　正男
森　裕一
下　善裕